

◎自転車ネットワーク計画について

台東区自転車ネットワーク計画は、台東区自転車活用推進計画の基本方針「①はしる（通行空間）自転車通行空間のネットワーク化の実現」に対応した計画とします。  
 ただし、台東区自転車ネットワーク計画の検討にあたっては、台東区自転車活用推進計画の基本方針「④つかう（活用）自転車を利用しやすい環境づくりや利用の促進」にも配慮します。

◎台東区自転車ネットワーク路線



◎台東区自転車ネットワーク路線（区道※2）の整備優先度

優先度区分	距離(km)	主要路線
整備済み	11.7km	金杉通り、千束通り、奥浅草寺町通り、左衛門橋通り等
優先度A	5.3km	動物園通り、仲之町通り、アサヒ会通り等
優先度B	14.8km	蔵前橋通り（台東区管理部分）、蔵前小学校通り、新堀通り、かっぱ橋道具街通り、清洲橋通り等
優先度C	9.5km	福井町通り、六阿弥陀通り、谷中キッテ通り、朝倉彫塑館通り、一葉桜・小松橋通り等

※2 隣接区の自転車ネットワーク計画との整合性を考慮して選定した路線を除く。

# 台東区自転車活用推進計画

# 概要版

◎計画策定の目的と計画対象 本編 1章

◎計画の目的

誰もが安全・安心に自転車を利用できる環境をつくり、自転車の利用を促すことで、区が目指す将来像でもあります。「世界に輝く ひとまち たいとう」に寄与する持続可能なまちづくりへと繋げることを本計画の目的とします。

◎計画対象

- 区域 台東区全域
- 計画期間 令和8～17年度（10年間）
- 車両 道路交通法で定義される「自転車」



◎計画で目指す目標と基本方針 本編 3章

◎本計画において目指すべき計画目標

「誰もが安全・安心で、気持ちよく自転車を利用できるまち たいとう」

◎基本方針

**1. はしる（通行空間）**

■ 自転車通行空間のネットワーク化の実現 ■

台東区は、狭い道路が多く、歩行者や観光客が集まる地域も多いため、自転車の通行環境には安全面での課題があります。こうした状況を踏まえ、自転車が安心して走行できる空間の整備を進め、歩行者・自動車との共存を図ります。

**2. とめる（駐輪環境）**

● 放置自転車対策や駐輪環境の充実 ●

駅周辺や商業地、観光地では駐輪スペースが限られており、放置自転車が歩行者の妨げとなる場面もみられます。駐輪場の整備や再編、民間との連携によるスペース確保を進め、誰もが安心して自転車を止められる環境を整えます。

**3. まもる（ルール・マナー）**

◆ 多様な利用者に向けたルール・マナーの啓発 ◆

区内では、歩行者との接触や逆走等の危険行為が課題となっており、観光地や商店街では特に安全意識の向上が求められています。すべての世代に向けた啓発活動を通じて、ルールとマナーを守る利用者を育て、安全で快適なまちづくりにつなげます。

**4. つかう（活用）**

▲▲ 自転車を利用しやすい環境づくりや利用の促進 ▲▲

台東区は、観光地や商店街が点在するまちであり、自転車は短距離移動に適した手段です。シェアサイクルの活用等、誰もが自転車を利用しやすい環境づくりを通じて、地域の魅力と暮らしの質を高めていきます。

本計画では、4つの基本方針（はしる、とめる、まもる、つかう）に基づき、10の施策を実施します。また、計画のフォローアップにあたって、13の指標を設定します。

## 基本方針 1. はしる (通行空間)

### 自転車通行空間のネットワーク化の実現

- 施策 1 自転車通行空間の整備促進
- 1 自転車ネットワーク計画の策定 **新規**
  - 2 自転車通行空間の整備 **新規**
  - 3 自転車通行空間の適切な維持・管理 **継続**
  - 4 まちづくり・道路改修の際の通行空間の整備検討 **新規**

- 施策 2 自転車通行空間の安全確保
- 1 パーキングメーターの撤去の検討 **新規**
  - 2 違反車両の削減に向けた広報啓発 **新規**
  - 3 インフォメーション(案内表示)の充実 **新規**

### \*「はしる」のフォローアップ指標\*

指標	現況値(上段) ・出典(下段)	計画期間内の 目標値	目標値の 考え方
車道の通行環境の満足度	25% (令和6年度) 区民・高校生アンケート (自転車利用者) ※『満足』あるいは『やや満足』 を選択した	⇒ 50%以上	区民の半数以上が満足することを目標とする。
自転車通行空間整備延長	11.7km (令和6年度) 区資料	⇒ 41.3km	自転車ネットワーク計画で設定した路線の整備を完了させる。



## 基本方針 2. とめる (駐輪環境)

### 放置自転車対策や駐輪環境の充実

- 施策 1 自転車駐車場・自転車置場の整備推進
- 1 新規自転車駐車場・自転車置場の確保 **継続**
  - 2 附置義務駐輪場の設置 **継続**

- 施策 2 自転車駐車場・自転車置場の利便性向上
- 1 多様なニーズに対応した駐輪スペースの検討 **拡充**
  - 2 利用手続きの電子化 **新規**
  - 3 電子決済の拡充 **拡充**

- 施策 3 放置自転車の削減・既存自転車駐車場の利用促進
- 1 放置自転車撤去の強化 **新規**
  - 2 短時間利用の拡充 **新規**
  - 3 満空情報の提供 **新規**

### \*「とめる」のフォローアップ指標\*

指標	現況値(上段) ・出典(下段)	計画期間内の 目標値	目標値の 考え方
放置自転車台数	1,292台 (令和6年度) 東京都「令和6年度調査 駅前放置自転車等の現況 と対策(令和7年3月)」	⇒ 250台以下	1年あたり100台減を目指す。
自転車駐車場利用率	84.5% (令和6年度) 区資料	⇒ 90%以上	自転車駐車場が適切に運用されることを目指す。
電子決済対応率	36% (令和6年度) 区資料	⇒ 100%	計画期間に全ての自転車駐車場で対応を目指す。
自転車駐車場・自転車置場利用環境満足度	74% (令和6年度) 区内自転車駐車場利用者 アンケート調査 ※『満足』あるいは『やや満足』 を選択した	⇒ 90%以上	区民の9割以上が満足することを目標とする。



各取組みの凡例	新規	継続	拡充
2 台東区自転車活用推進計画 概要版	本計画から新たに実施する取組み	本計画策定前に既に実施し、引き続き同様に実施する取組み	既存事業の対象範囲を拡大し、実施する取組み

## 基本方針 3. まもる (ルール・マナー)

### 多様な利用者に向けたルール・マナーの啓発

- 施策 1 交通安全教育の推進
- 1 小中学生を対象とした交通安全教室の実施 **継続**
  - 2 自転車安全利用講習会の実施 **継続**
  - 3 交通安全区民のつどいの実施 **継続**
  - 4 シニアクラブ指導者研修会の実施 **継続**
  - 5 自転車シミュレーターを活用した体験プログラムの実施 **継続**

- 施策 2 交通ルール・マナーに関する広報啓発
- 1 自転車利用のルール・マナーに関する情報発信 **拡充**
  - 2 交通安全運動による啓発の推進 **継続**
  - 3 ルール・マナー啓発品配布 **継続**

- 施策 3 自転車安全利用の促進
- 1 交通安全グッズの配布 **継続**
  - 2 交通安全絵本の配布 **継続**
  - 3 幼児用ヘルメットの配布 **継続**
  - 4 ヘルメット着用の広報啓発 **継続**
  - 5 T Sマーク※1取得に対する助成 **継続**
  - 6 自転車点検整備に関する広報啓発 **継続**
  - 7 自転車損害賠償保険に関する広報啓発 **継続**
- ※1 T Sマーク: 自転車安全整備士による点検整備を受けた自転車に貼付するシールで、賠償責任・傷害保険等が付帯しています。

## 基本方針 4. つかう (活用)

### 自転車を利用しやすい環境づくりや利用の促進

- 施策 1 シェアサイクルの普及促進
- 1 シェアサイクルポートの充実 **拡充**
  - 2 シェアサイクル普及のための情報発信 **拡充**
  - 3 災害時におけるシェアサイクルの活用 **新規**

- 施策 2 自転車利用に関する情報発信
- 1 自転車情報マップの作成・配布 **新規**
  - 2 自転車通勤に関する情報提供 **新規**

### \*「まもる」のフォローアップ指標\*

指標	現況値(上段) ・出典(下段)	計画期間内の 目標値	目標値の 考え方
自転車関連事故件数	323件 (令和6年) 警視庁「都内自転車の交通事故発生状況(令和7年2月)」	⇒ 194件以下	都の計画の目標値以上の減少率を目指す。
自転車損害賠償保険の加入率	51% (令和6年度) 区民・高校生アンケート ※『加入している』を選択した	⇒ 75%以上	国の計画の目標以上を目指す。
自転車利用者のマナー満足度	15% (令和6年度) 区民・高校生アンケート ※『満足』あるいは『やや満足』 を選択した	⇒ 30%以上	区民の3割以上が満足することを目標とする。
車道通行率	68.5% (令和6年度) 通行量調査 ※左衛門橋通りの通行空間が整備されている区間で、車道の左側を通行していた	⇒ 80%以上	自転車利用者が適切に車道通行することを旨とする。



### \*「つかう」のフォローアップ指標\*

指標	現況値(上段) ・出典(下段)	計画期間内の 目標値	目標値の 考え方
自転車利用環境の総合的な満足度	19% (令和6年度) 区民・高校生アンケート (自転車利用者) ※『満足』あるいは『やや満足』 を選択した	⇒ 40%以上	区民の4割以上が満足することを目標とする。
シェアサイクル利用意向	27% (令和6年度) 区民・高校生アンケート ※『利用したことがあり、今後も利用したい』あるいは『利用したことはないが、今後は利用したい』 を選択した	⇒ 50%以上	区民の半数以上の利用意向があることを目標とする。
自転車分担率※2	11.2% (平成30年度) 東京都圏交通計画 協議会「第6回東京都圏 圏パーセントリッジ調査 データ」	⇒ 20%以上	国の計画の目標値以上を目指す。

※2 ある目的地までの移動(1トリップ)で利用している交通手段のうち、主な交通手段が「自転車」であるトリップ数が、全トリップ数に占める割合。

